

草木のし



Gayoi, T. O.S.

2013年

被昇天号

第190号

【 聖 句 】

主は心の碎けたる者の
近くにいまし給う
魂のくずれたる者を好みて助け給う

正しき者には 災い多し
されど主はそのすべてより
彼を助け給うなり

詩編 第 33 編 19・20
「詩編」―日常の祈禱書として―
(エンデレル書店刊)

選：Y.F



【マリア様の信仰 ―信仰年によせて―】

司祭 山本英明

信仰のお手本は誰ですか？と尋ねると、両親、親族、友人、教会にいらっしゃる模範的な信徒などとおっしゃる方が多いと思います。イエス様とおっしゃる方もいるかもしれません。

それでは信仰とは何ですか？と尋ねてみるとどうでしょう。この質問に自信をもって答えられる方は少ないのではないのでしょうか。

私は即答できます。私の信仰のお手本はマリア様です。信仰とは、神様の言葉を聞いて、それに従い、行うことです。このように答えます。

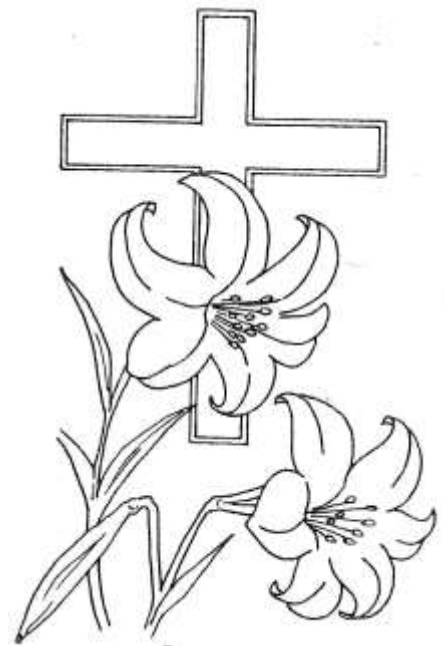
聖書の中でイエス様は「わたしの母、わたしの兄弟とは神の言葉を聞いて行う人たちのことである」（ルカ 8 章）とおっしゃっています。

マリア様の生涯を簡単に思い出してみましょう。マリア様は天使ガブリエルによって神様のお告げを聞き、少し躊躇もしましたが、最終的にはお言葉どおりにこの身になりますようにと、神様の言葉を聞き入れ、それに従い、イエス様をお産みになりました。また、カナの婚礼で、マリア様は召使に「この人（イエス様）が何かを言いつけたら、そのとおりにしてください」（ヨハネ 2 章）と述べています。さらには十字架上のイエス様から弟子たちと一緒に暮らすように諭されたマリア様は、その通りに弟子たちと暮らし、共に祈りしていたことが使徒言行録を読むと明らかです。

マリア様はまさにイエス様がおっしゃったように、神様の言葉を聞いて、それに従い、それを実践していた方です。ですから、マリア様は真のイエス様のお母様であり、最初で最良のキリスト教信仰の見本と

言えるのです。マリア様が、私たち信者を導く星、教会の母と讃えられるのはその所以です。私たちは何かと信仰を難しく考えているかもしれません。また信仰と人間的な又は個人的な理想とを結びつけて考えているかもしれません。マリア様に倣って、ただただ神様の言葉（聖書、教会の教え、良心）を聞き、それを行うこと、これこそ、私たちキリスト教の信仰なのではないのでしょうか。

信仰年の聖母被昇天祭を祝うこの機会に、もう一度マリア様の生涯をたどって、私たちはどう信仰生活を送るべきか考え直してみたいかがででしょうか？



《 目 次 》

☆	聖 句	Y.F	・ ・ ・ 2
☆	「マリア様の信仰 ―信仰年によせて―」	山本英明司祭	・ ・ ・ 3
☆	目 次		・ ・ ・ 4
☆	2013 年度住吉小教区評議員氏名・新任挨拶		・ ・ ・ 5
☆	洗礼・堅信・初聖体おめでとうございます		・ ・ ・ 9
☆	オマリー神父様金祝おめでとうございます		・ ・ ・ 11
☆	2013・サムエルナイト		・ ・ ・ 12
☆	神戸東ブロック合同堅信式		・ ・ ・ 14
☆	教会施設維持管理費の積立を始めました		・ ・ ・ 16
☆	ミサゴ毎週開店		・ ・ ・ 17
☆	終末期医療を考える・聖体賛美式		・ ・ ・ 18
☆	神戸地区大会 I N 淡路		・ ・ ・ 20
☆	住吉川 川遊び・七夕さま		・ ・ 23
☆	教会学校サマーキャンプ		・ ・ ・ 24
☆	サマーバーベキューパーティー		・ ・ ・ 26
☆	図書コーナーから		・ ・ ・ 28
☆	(信徒動静・教会日誌)		・ ・ ・ (27)
☆	後記・教会案内等		・ ・ ・ 29

題 字 : 山際 純子

表紙画 : 多月 弥生

「すみよし」電子版は「カトリック住吉教会」のHPにフルカラーで掲載されています。どうぞご覧ください。

4 月 7 日（日）小教区総会が開催されました。ミサの中で派遣の祝福の前に T 議長⇒U 新議長交代の挨拶があり、ミサ後総会が開催されました。配布資料にそって① T 財務長より 2012 年度決算報告② 2013 年度予算報告があり承認されました。U 代表より③ 2012 年度活動報告④ 2013 年度活動計画が述べられました。⑤ 質疑応答、意見、要望はなく赤波江神父様のお祈りで新年度がスタートしました。

《 2013 年小教区評議員の皆様》

担当司祭	赤波江 豊神父
星の園幼稚園園長	松谷 馨子園長
評議会議長・書記	T.U（新任）
評議会副議長	A.T・M.N・Y.N（3 名新任）
司牧チーム長	H.Y（留任）
典礼チーム長	H.N（留任）
宣教チーム長	H.T（留任）
養成チーム長	K.K（留任）
教会学校代表	M.U（留任）
青年学生チーム長	K.H（留任）
社会活動チーム長	T.I（新任）
財務チーム長	A.T（兼任）（新任）
国際チーム長	Juan Castillo（カステイーヨ）（留任）
営繕チーム長	K.K（留任）
施設管理チーム長	R.K（留任）
広報チーム長	Y.I（留任）
H P 管理運営委員長	S.K（留任）

☆ ☆ ☆ よろしくお願ひいたします。 ☆ ☆ ☆

[目次](#)

《新任挨拶》

「神戸地区養成委員会のこのごろ」

評議会議長 T.U

住吉教会養成チームに所属し、K.K チームリーダーのもと活動しております。今般の住吉教会議長就任（再）により 4 年ぶりに神戸地区養成委員会へ出席することとなり 7 月 6 日（土）から 7 日（日）にかけ、宝塚売布黙想の家で地区養成委員会一泊研修がありましたので、その報告をさせていただきます。

1 現在

神戸地区養成委員会は、神戸地区評議会に所属し、指導司祭は赤波江 豊神父様が担当されておられます。地区養成委員長は 2013 年、北須磨教会の K.H 氏が就任されました。各小教区から 2 名ずつ養成委員が出席しておりますが、1 名のみの小教区も少なくないのが現状です。住吉からは K さんと U が出席しております。

主な活動内容は、地区レベルの養成を担当し、①祭儀司式者養成コース
②聖体授与を伴う病者訪問奉仕者養成コース（住吉はレジオ・マリエが参加）③1, 2 のリフレッシュコース④講演会等を準備、運営しております。

2 神戸地区養成委員会の歩み

1996 年 6 月 9 日、大阪教区生涯養成委員会が各地区に養成委員会を立ち上げ、地区評議会にオブザーバーとして参加したのが始まりとされております。

1997 年 1 月「追悼と新生の集い・・・新生の明日を求めて」（六甲学院講堂）

（注：確か安田大司教様が司式されたと記憶しております。）

1998 年 6 月 14 日、チーム B 発足、指導司祭は諏訪神父様（当時）のち中川神父様、パウロ神父様と歴代地区長が担当され、2007 年ごろ、神戸地区養成委員会となった模様です。

3 2013 年大阪教区「識別を身につける」研修会：六甲 F 氏が参加

- （1）生きているキリストと結ばれた信仰
- （2）自分の信仰を見直す
- （3）自分の心の動きを見つめる
- （4）共同体の中でのわたしの信仰体験
- （5）五つの教会像を目指して①谷間におかれた人々の心を生きる②交わりの教会③共同責任を担い合い、協働する教会④聖霊の導きを識別しながらともに歩む教会⑤司祭・修道者との協力重視、信徒の役割と使命を前面に出す教会

4 売布の一泊研修は赤波江神父様の講話、聖書の分かち合い（西ブロック）

「共に歩む旅」をテキストとした 7 ステップ法（抄）等、たくさんのお恵みをいただきました。誌面の都合でこのへんにさせていただきますが、機会がありましたら新たな動きを、また報告させていただきます。

「就任にあたって」

副議長 アントニオ・ジェラルド A.T

3 月末までの約一年半、みなさま方に支えられながら何とか評議会の議長職を務めさせていただき、心から感謝いたします。今度はみなさまといっしょに U 議長を支えながら教会の事に励んでいきたいと思っています。

私たちは神様から一人ひとり違った才能をいただいております、考え方もそれぞれ違います。教会では様々な活動をしてはいますが、お互いの違いを理解し合い認めあって、みんなが神様からいただいたそれぞれのタレントを活かしながら教会活動を行っていくことが大事だと思います。そのために動きやすい雰囲気を作り、働きやすい環境を整えるのがこれからの私の副議長としての役目であると思っています。

まだまだ至らない私ですが、皆様の祈りと支えのうちに働かせて頂けますようよろしくお願い致します。

「よろしくお願い致します」

副議長 マリア モニカ M.N

今回副議長をお引き受けいたしました。今も考えれば考えるほど、「何をしたらいいの？ どうしたらいいの？ 分からない・・・無理・・・」という気持ちになります。幸い主人が理解を示してくれているので、まず神さまの、そして今まで副議長を務められた方々、評議会の皆さま、そして教会のすべての皆さまのご協力をあてにして、この2年間務めたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。住吉教会の皆さまお一人お一人、神さまから特別なタレントをいただいたジグソーパズルの一枚・・・と私は思っております。どうぞ、皆さまそれぞれのタレントを発揮していただいて、「住吉教会」というジグソーパズルを完成できますようにお力をお貸し下さい。

「よろしくお願い致します」

副議長 ラファエラ Y.N



副議長に就任いたしました N です。

今期の議長団は、書記も入れ 6 人のところ 4 人でのスタートです。

内外に仕事を持っているメンバーなので、土日以外ほとんど動けず、皆さまのお力を貸していただきながら、歩ませていただきたいと思います。

行事をただ熟すだけではなく、誰でも参加でき、参加することで絆を強め家族のような教会になれることを目指し、初めて教会を訪ね 求めて来られた方々に優しく暖かいお迎えのできる共同体でありたいと思っています。

ミサに与るだけの信仰ではなく、友愛の心を持ちながら互いのために祈り、みんなで世界中の方々のため祈る。そんな「祈り」を大切に、主のみ旨を皆さまと一緒に歩めま
すように... どうぞ よろしくをお願いします。

「リーダーを引き受けて」

社会活動チーム T.I

神様から K 様を通してお声が掛り（？）全くの“空の手”の私が不安ながらも皆様のご助力を頼んでリーダーをお引き受けしました。これまで炊き出しは都合のつく時のみ参加していましたが、準備などは総て役員の方がして下さい、私は只ちょこまかと野菜などを刻んだり、豚汁やご飯を装ったりするだけで楽なものでした。その程度
の感覚でしたから、役員としての仕事が始まってから「おー！」「おー！」と驚くことばかり。どの世界でも言える事でしょうが、役をなさっている方々の目に見えないご努力の上で、私は暢気にさせて頂いていたのだなーと頭が下がりっぱなしです。

きっと皆さま夫々優れたタレントを戴いていらっしゃるのだと思いますが、私には神様はあまり良いタレントを下さいませんでした。以前にはそれを神様の依怙贖と恨んでいましたが、今では御旨なら仕方ないとそう恨まず「私はこれでいいのだ！！」と都合良く開き直っています。そういうわけですから数々の未熟な点はお許し下さい。

さて、社会活動とは、神様の愛の世界に成る為に、社会、正義、平和の問題に係ることだそうです。弱い立場の人々、反平和的な世の中の出来事などから目を逸らさず、ふるえて（相馬信夫司教様のお言葉より）一深く心から共感し、自分のことのように思うということでしょうか一何か自分に出来る事をする。そして周りの人々にも促すこと
だそうで、それ即ち、「神様の福音を生きることなのです。」（松浦司教様）私にはあまりにも広くて、大きすぎるテーマで「この無力な私はどうすればいいの？」と貧弱な頭の中は混乱しています。本当にこれまでの方の万分の一もお役に立ちませんが、皆様のご協力宜しくをお願いします。

社活へのご要望、ご批判等がございましたらご遠慮なくお申し出下さい。福音を生きる為に皆様とご一緒に努めて参りたいと思います

洗礼・堅信・初聖体
おめでとうございます

3月30日（土）・31日（日）
復活徹夜祭のミサの中で皆様の祝福
の内に2人の方が洗礼と堅信の秘跡
を、中学1年の方が初聖体を受けら
れました。新しく主の道を歩まれる
方々の上に神様の限りない恵と祝福
が注がれますように。



「洗礼のお恵みをいただいて」

マリア・テレサ T.S

新教皇様ご誕生のすぐ後に、洗礼を授かることが出来た事を大変光栄に思います。今まで何度か教会に足を運ぶ機会はありませんでしたが、今回、ここ、住吉教会にて、洗礼を受けたというのは運命的なものを感じます。代母の方が導いて下さり、神が招いて下さったんですね。神に全てを委ねて、感謝と喜びのうちに日々を送ることができますように・・・

「洗礼を受けて」

マリア M.N

結婚を期に主人の勧めで、この度洗礼を受ける事になりました。初めは何もわからないまま勉強が始まり、自分の覚えと理解の悪さにひそかに落ち込む日もありましたが、神父様をはじめとし、信者の皆様のお力添えのもと、無事にご復活祭の折に洗礼を授かる事ができました。日々の生活の中で何が大きく変わったわけではありませんが、今まで気に留めなかった事や、当たり前だと思っていた事に、感謝の気持ちが持てるようになりました。私達は神様に生かされているという事を忘れず、これからも感謝の気持ちを持っていきたいと思います。



ずっとパンがほしいと思っ
いたのではっせい本を
うけて、ただけるように
なるとてもうれしいです。
はじめてたばたとき、「うめ
い」のあじがしました。
これからじしゃも、がんばり
ます。


アグネス

A.S



はっせいたいをうけて
ごせいたいをうける まえにゆるしのひせきを
しました。そのときとてもどきどきしました。
でもじぶんのわるかったことをしんぷさまにいて
すっきりしました。ごせたいをいただけでホッという気持ちになりました。
ぼくはときどききょうかいに行くのがいいや
になるけどはっせいたいのとどきうれしかった
気持ちをあすれないようにします。 T.I



復活の主日のミサの中で2人の子供が初聖体を受けました。

「ご聖体はパンの形の中にいらっしゃるイエス様の体。子供達が毎日食事をしなければ大きくなれないように、洗礼を受けてイエス様のように心のきれいなやさしい人になっていくために、いつもご聖体をいただくのです。」（赤波江神父様のお話から）

ルカ T.O (3月30日)
ヨゼフ T.I (3月31日)
アグネス A.S (3月31日)

《オマリー神父様金祝》

4 月 1 4 日（日）

東ブロックの協力司祭として月に一度は住吉教会の主日のミサで力強いお声で私たちにお話をして下さるオマリー神父様は今年司祭叙階 5 0 年をお迎えになりました。（ご経歴はイースター号に掲載）

三月末の聖香油ミサの後、カテドラルで教区皆からのお祝いをお受けになりましたが、住吉教会では 4 月 1 4 日お祝いのひとときを持ちました。（HP もご覧下さい。）

神父様はミサの中でお話し下さいました・・・

「神様のお恵みとお力によって信徒達と互いに仕え合い、
励まし合って支えられてきたからこそ 5 0 年司祭職を
続けることが出来ました。

頂いた聖霊の力を無駄にしないで

蘇られたキリストの力をあらわして行きましょう！

信徒の皆さんは教皇様、司教様、神父様方のために
たくさん祈って下さい・・・」

（編集部）



[目次](#)

サムエルナイト

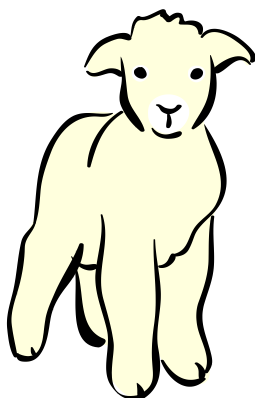
4 月 2 7 日（土）～4 月 2 8 日（日）於・住吉教会

中央教会・住吉教会の小学生信徒の為の「合同お泊り勉強会」＝サムエルナイトが今年は住吉教会でありました。約 6 0 名（子供達・リーダー・食事係のお母さん達）の参加でした。お兄さんやお姉さんにお祈りや聖書のお話を教えてもらったり、食事のお世話等してもらいました。自分達で手伝える事もたくさんありました。今年は教皇様が代わられたので、歴代の教皇様の歴史や、新教皇フランシスコとはどんな方？教皇様の選出方法は？等、色々と調べ、学んだ内容を表に現し発表しました。しばらくパウロ三木ホールにも貼りだし、素晴らしいねとたくさんの方々が興味を持って見てくださいました。園庭で遊んだり、おとめ塚温泉に行ったりとても楽しい時間を過ごしました。

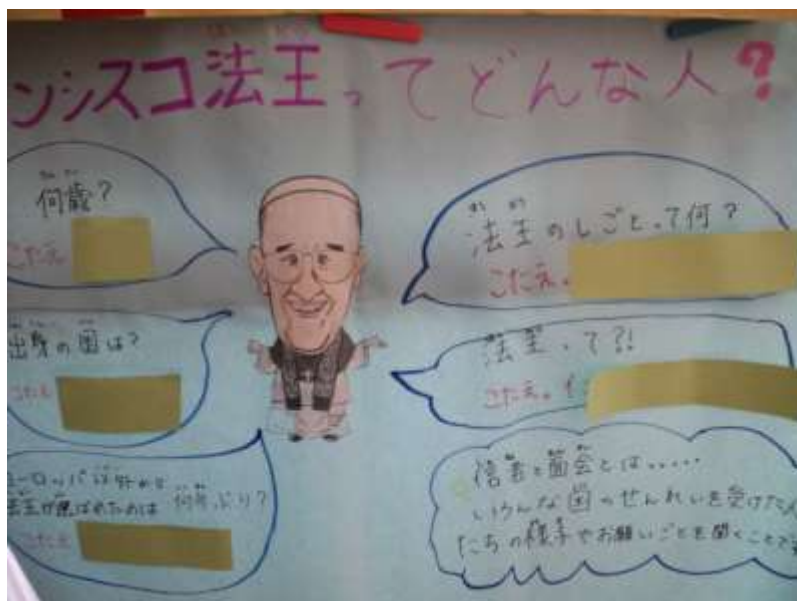
お祈りの大切さを教えてもらいながら、神様がいつも近くにいてくださる事に気がついたサムエルのように、自分の事ばかりではなく周りの人の事も考えられるようになりたいと思いました。たくさんの友達が出来たのもとても嬉しい事です。

（編集部インタビューまとめ）

みんな聞き入っています。



フランシスコ新教皇様ってどんな方？



大縄跳び、楽しそうですね



[目次](#)

《神戸東ブロック合同堅信式》

5 月 1 3 日（日）

池長大司教をお迎えして 六甲教会で合同堅信式がおこなわれました。（神戸中央、六甲、住吉の方たちが合わせて 34 名）。大司教様からの「受堅者の皆さんは家庭で、学校で、職場で・・ あらゆる生活の場で今日頂いた聖霊の賜物をいかして過ごすように・・・」を胸に、ミサ後行われたパーティを楽しみました。



「堅信式を受けて」

私は 5 月に堅信式を受けさせていただきました。

名はマリアです。これは洗礼名と同じにさせて頂いたのですが、私の意思の中に、マリア様のような信仰をしたいと思ったからという思いも込め、この名前にさせて頂きました。

勉強では、回数はあまり多く参加できませんでしたが、六甲教会と住吉教会の方、神父様にたくさんのことを教えて頂き、また、初聖体の際に学んだことも思い出しながら勉強できたのではないかと思います。

当日は緊張はしなかったのですが、本当に受けて大丈夫なのだろうかと思っていました。ですが式が始まって、気が引き締められたのだと思います。

そのおかげでいい緊張の中で無事式を終えることができました。

式を終えてもう一ヶ月になりますが、まだまだ実感が湧いていません。

堅信式は教会の中での成人式と言われていきますので、これから教会に貢献できるようになりたいと思っています。たくさんのご指導を頂きたいと思っています。

最後になりましたが、勉強を教えてくださいました方々、堅信式をみてくださった方、両親や支えてくださった皆様、いっしょに堅信式を受けた人、そして一番携わってくださった神父様、本当に有難うございました。これを通過点として頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

M.Y

今回、堅信という一つの大きな儀式を受けさせていただきました。

日頃あまり教会に行っていない私がそのような重大な儀式を受けていいのかと最初はとまどいましたが、キリスト教に対する関心や信仰心をより一層強くしようとおもい、受けさせてもらいました。毎週日曜日に行われる堅信のための勉強会では、イエス様が弟子たちをはじめ、私たちに知って欲しかったこと、理解させたかったこと、受けとめるように望んだこと、イエス様が望み、招かれる一人の人間としての生き方、などこれら全て学んだ 4 つのことをふまえ、自己を見つめ、鏡の中に映っている表面的な自分と、元々受け持つ本当の自分を区別し、人としてのなりたい自分に成長していこうと思いました。

堅信当日、額に塗油していただいた時、私はイエス様に神の子供であることを改めて認めて頂けたように感じました。これから勉強会で得たことや儀式で感じたことを心に留め、日々生活していこうと思いました。

A.M

迷っていた時もありましたが、今はいろいろなことに前向きな気持ちになっています。赤波江神父様、ここまで導いてくださってありがとうございます。これからも頑張ります。

M.H

この堅信式を受けて、かわったことがありました。今までふつうにミサを受けていたけど、堅信式を受けた後は、神様のことを思いながら、ミサを受けるようになりました。

初聖体の時のような、緊張感でした。これから先、一生神様を信じて生きていきたいです。

N.Y

僕は堅信を受けて、初めて教会での「大人」になれた気がした。今までは、あまり積極的に手伝いをしたり、祈りもしなかったけど、これからは教会の「大人」として、もっと積極的に、平和な世界が訪れるような活動をしていきたいと思う。

N.W



おめでとうございます

アシジのフランシスコ N.W さん
ルカ T.O さん
マリア A.M さん
マリア M.Y さん
ルドビコ・茨木 N.Y さん
使徒ヨハネ M.H さん



- 13 -

《 教会施設維持管理費の積み立てを始めました。 》

—2013年4月から—

2006 年 6 月の献堂から早くも 7 年が経過しました。毎週土曜日の聖堂の掃除、月曜日のパウロ三木ホール清掃、年 2 回(5 月、11 月)の清掃業者による清掃作業のお陰でいつもきれいに保たれており、感謝致します。

一般的に建物は 10 年を目途に大規模な補修工事(メンテナンス)を行います。住吉教会では **2016 年頃**に屋上防水工事、外壁の塗装工事、給湯器や空調機(GHP)の交換などを行う予定です。

献堂当時の長期メンテナンス計画では築 10 年補修費用を想定していました。また、築 10 年補修だけではなく、その後のメンテナンスに備えて資金を蓄えておく必要があります。

住吉教会は財政的には今のところ特に問題なく運営されていますが、今後少子高齢化がますます加速していくことを考えますと将来の財政状況はだんだんと厳しくなっていくものと思いますので、今のうちに将来にわたる広範な補修の為に教会施設維持管理費用の積み立てをしたいと思い、1月20日の住吉教会評議会での決議に基づいて大規模補修資金の積み立てを4月から始めています。

今のところ費用見積もりなどはまだ出来ていませんが、資金作りには信徒一人ひとり(子供たちも中学生・高校生・大学生も社会人も高齢者もみんな)がそれぞれの出来る範囲の中で、それぞれの方法で苦しみと痛みを分かち合いながら

「みんなで、主キリストがともにおられるみんなの教会を守っていくのだ。」と力を合わせていくことが大事なことだと思います。まだの方は今からでも結構ですので受付に置いてある**専用の封筒**を使って教会維持費納入箱かミサの中で回ってくる献金籠にお入れ下さい。

記

1. 教会施設維持管理費(営繕献金)募集
2. 献金方法:原則として毎月、目的献金袋で献金していただきます。
(教会維持費と同じように)
3. 1か月当たりの金額:特に定めません。ご自由に決めて頂いて結構です。

なお、この目的の為のご寄付や不定期的な献金もお受けします。

何かと出費がかさむところ恐縮ですが、いつまでも美しい教会を守る為に心をひとつにして精一杯努力して進んで行こうではありませんか。

カトリック住吉教会 評議会



《ミサゴでほっこりしたひと時を》 社会活動チームより

みなさんの憩いの喫茶「ミサゴ」はこの度新しく社活担当になりました。たくさんの方々のお手伝いを得て6月より毎週オープンしています。ワンコイン喫茶（100円）は小さなお菓子付き＋温かい心付きです。神父様方も皆様と和まれるこのひと時を楽しみにしておられます。



美味しくお茶を楽しんで、おしゃべりでほっこり笑顔をお土産にしてお帰りになりませんか。なお「ちりも積もれば・・・」の利益は必要とされる色々な活動に献金させて頂いております。



最上のわざ

ヘルマンホイベルス「人生の秋に」

この世の最上の技は何？

楽しい心で年をとり 働きたいけれど休み
しやべりたいけれども黙り 失望しそうな時に希望し
従順に平静に おのれの十字架をになう・・・ 若者が
元気いっぱい 神の道を歩むのを見てもねたまず
人の為に働くよりも謙虚に人の世話になり 弱って
もはや人の為に役立たずとも 親切で柔和である事・・・

老いの重荷は神の賜物 古びた心にこれで最後の
みがきをかける まことの故郷へ行くために・・・
おのれをこの世につなぐ鎖を 少しずつはずしていく
のはまことにえらい仕事・・・ こうして何もできなく
なれば それを謙遜に承諾するのだ 神は最後に一番
よい仕事を残してください それは祈りだ・・・
手は何もできないけれど 最後まで合掌できる
愛するすべての人の上に 神の恵みを求めるため
に・・・すべてをなし終えたら

臨終の床に神の声をきくだろう

「来よわが友よ われ汝を見棄てじ」と

H・Y選（年を重ねるとこの祈りが心に沁みてきます）

《 終末期を考える 》

【第 2 回 終末期を考える・・・医療現場より】

6 月 2 日（日）

宣教・司牧チームの主催で 2 月 10 日に 第 1 回の看取り体験を分かち合う集いがありました。第 2 回目の今回は「終末期の医療について」のお話で、前回より多数の方が参加され T 先生からお話を伺いました。

先生が関わられた何人かの患者さんのお話を伺っていると、終末期を迎えられた ご本人 そして そのご家族の方は、主治医の先生とよく話し合い … 終末期の治療を どうするのか？ 残された 大切な時を どのように過ごすのか、そのために何が一番最善か？ 等々 … 当事者と関わる人々が価値観を共有することの大切さ、重要性が分かってきました。

当日の資料から 一部を紹介させていただきます。参考になさってください。

医療技術の研究・開発が進み、多くの患者さんは 高度医療の恩恵を受けておられます。しかし、人の生命が延びることによって 死にゆく過程も長期化し、延命治療が 今 改めて問われるようになってきました。

その一つに 胃瘻などによる人工的栄養補給法などがあります。最近 死が迫った高齢者に胃瘻が造設され、その悲惨な姿などが 報道されるようになり 終末期の医療で 大きな問題になっています。

日本老年医学会では、「高齢者の医療とケアにおいては、苦痛の緩和と生活の質を高めることが 最も大切なことで 最大限に配慮されるべきである」として、

「患者本人の尊厳を損なったり 苦痛を増大させたりする可能性があるときは、治療を差し控えたり 治療からの撤退も選択肢と考える」という立場表明が発表され、多くの医療関係者から 支持されるようになってきています。

また、リビング・ウィル（自らの意志で 延命治療を行わないようにと明文化しておくこと）は知られているが、現在 緩和医療現場では、もう一步進めて

病状が悪化した時に行われる個々の治療の選択だけでなく、自分の価値観や希望、生活上の気がかりなこと、終末期の過ごし方などを 事前に ご本人、家族の方々 そして医療・ 介護関係者などと よく話し合っ、出来れば書面に残しておく手法（アドバンス・ケア・プランニング 事前指示書）を 作っておくことが すすめられています。



次回は 9 月 22 日（日）
「キリスト者として終末期を
どう過ごしたらよいか」
「終末期を迎えた方にキリスト者
としてどう接するか」
多数のご参加をお待ちしています。

死を見つめ直すことによって

「モリー先生との 火曜日」より一部抜粋
誰もいずれ死ぬことは 分っているのに 誰も信じない。
みんなやらなければ いけない と思っているのに・・・。
まるで夢遊病者のように過ごしている。
死に直面すればすべてが変わる。
今日がその日か … ? 用意はいいか … ? すべきことを 全てやって
いるか … ? なりたいと思う人間になっているか … ?
自分達がため込んで身にまとっている余計なものをはぎとってゆけば、
かんじんなものだけに注意を集中させることができる。
“ いかに死ぬかを学べば いかに生きるかも学べる ”
“ そしてこそ 生きている間 人生についてはるかに真剣に
取り組むことができる ”。



《 聖体賛美式 》

6月2日(日)

6月2日聖体の祝日にあたって教皇様から聖体賛美式そしてご聖体の前で
祈るようにとのお勧めがありました。小聖堂で赤波江神父様と信徒が
夕方5時から祈りの時を持ちました。

「世界中で途切れることなくご聖体の前で祈る人々がいることは
素晴らしいこと・・・ イエス様が目に見える形で残して下さった
ご聖体をもっと大切に祈る時間を持ちましょう」



フランシスコ教皇様司式の聖体賛美式 DVD が貸し出し用に作られ
ホールトレイの上にあります。
他にも興味深い CD,DVD がありますのでご利用下さい。



神戸地区大会

6 月 9 日（日）

R.K・K.T 記

2 年ごとに開催される神戸地区大会。4 年前篠山での大会を憶えていらっしゃる方も多いと思いますが、今年は 6 月 9 日淡路しづかホールに神戸地区 11 教会 700 人が集まりました。明石海峡大橋を通過して 1 時間あまりで着くとはいえ、何しろ海外！各教会バスを仕立てて遠足がてらといったところ。

住吉からも 40 数人が参加。9 時半にバスは教会を出発し、まずはお祈り。渋滞に巻き込まれる事もなく素晴らしい眺めの明石海峡大橋を渡り、途中『パルシェ香りの館』に立ち寄る。美しく咲き競うハーブの花々を見ながら思い思いに散策し広々としたヨーロッパ庭園風の中庭で各自持参のお弁当を食べ、お土産コーナーを覗き、そしてシドニーのオペラハウスを模して造られたような『しづかホール』に到着したのは 12 時半頃でしょうか。西ブロック中心に一年間準備してきた実行委員の方々がもう既に朝から用意を整えていました。今年住吉教会は、ミサの侍者一人と献金係りを引き受けました。ちなみに献金は 5 月 13 日の淡路地震により被害を受けた洲本教会の補修費用と『ふっこうのかけはしプロジェクト』の活動資金に充てられました。

第一部ミサ

松浦補佐司教と神戸地区司祭団の司式。垂水教会の方々によるギター、キーボード、ハーモニカなどの伴奏で『ウズキリスト』『クレドドミネ』等歌いました。700 人の聖体拝領は、その進行を事前によく打ち合わせしていたにもかかわらず、御聖体が足りなくなって後は祝福になった～などというハプニングもありました。反省点です。

第二部イベントの部

はじめは神戸地区司牧チームの紹介。お一人おひとりの神父さま方のプロフィールは当日の冊子に載っています。

次はたかとり教会ベトナム人信徒によるバンブーダンスやきれいな民族衣装による踊り。故郷の伝統を受け継いでいくことは大切だなあ、と思いました。

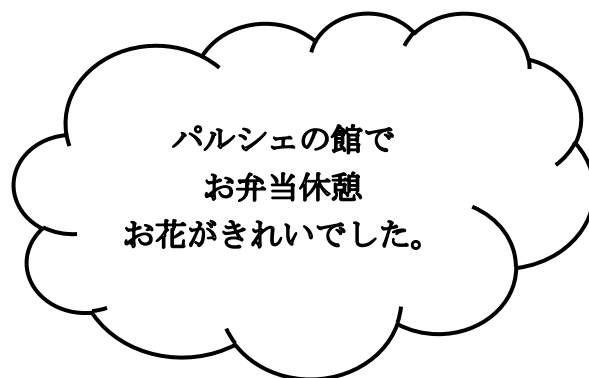
さて次は今回のハイライト！洲本教会信徒も一員である葵連淡路支部による阿波踊り。一糸乱れぬ数十人による踊り。風揚げを模したユーモラスな踊り。幼稚園生ぐらいの子供たちによるかわいい踊り。何十年も踊っておられるであろうお爺さんの枯れた踊り・・・などを堪能した後は、会場の皆さんも参加して、にわか阿波踊りでホール中賑やかに盛り上がりました。

最後は青年委員会による活動の紹介です。昨年の福島のお母さんや子供たちを招いての『ふっこうのかけはし』の紹介や（今年も形を変えて行われます）、『青年と子供の錬成会』のことなど、住吉の H 君も壇上でがんばりました。

閉祭のご挨拶は今年から神戸地区長になられた春名神父さま（西ブロック）。

16 時半終了。バスに乗って近くにある『たこせんべいの里』と『産直市場』でたんまりお土産を買って、無事 18 時半頃住吉教会へ帰ってきました。

皆さまお疲れ様でした。楽しかったですね。神に感謝！





葵連淡路支部による阿波踊り



バンブーダンス！！



青年委員会による活動の紹介

新神戸地区長
春名神父様のごあいさつ



住吉川川遊びと七夕さま



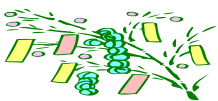
7 月 6 日（土）～ 7 月 7 日（日）

春先には河口にぼらの群れが姿を現し、カモが雛を産み育てる。6 月下旬には上流でホタルが舞い、アオサギやしらすぎが稚魚を狙う。六甲山からの清流はクレソンやミントの宝庫。かつてはお天気の良い日曜のミサ後、大人も子供も教会総出で上流の五助ダムの下でカレーハイキングをしましたっけ。近くを流れるそんな住吉川で、梅雨の晴れ間、中央教会と住吉教会の土曜学校の子供達と一緒に川遊び。はだしで流れの中に入り魚を探したり、カワニナを捕ったり・・・服が少々濡れても平気！楽しい午後を過ごしました。翌日は七夕さま、笹に祈りを込めた願いを書いてつるし、祭壇にお捧げしました。神様、どうぞしっかり読んでくださいね・・・



リーダーのお話をよく聞いてね☆

何かいるかな??



子供達の祈りと大人達の祈りがつるされた七夕の笹がミサの祭壇を飾りました。願いがかないますように・・・。

イースターに初聖体を受けた
A.S ちゃんが七夕さまに
初侍者デビュー。
神様のお手伝いありがとう。
これからもよろしくネ・・・



2013 教会学校サマーキャンプ

今年は、7 月 24 日（水）～25 日（木）「西宮甲山自然の家」に行ってきました。
低学年も多く、午後からの出発ではありましたが、この 2 日間を通じて子供たちの成長が見てとれるとても良い時間が過ごせました。



今年のキャンプ旗



トゥアン助祭のお祈り



サブリーダー：中 1 N.W

僕は今回初めてサブリーダーとして参加した。今回のキャンプで 1 番楽しかったのは、夜の集いのスタンツだ。自分は司会をした。一班から四班の発表はすべてユニークで、おもしろかった。特に、四班の発表は個性的で、誰でも楽しめるようなクイズだったから、凄いなと思った。できれば、来年も参加したい。

✠ 爽やかな朝のミサ ✠



一生懸命！
文集作り



みんなで「いただきます♪」



全
員
集
合
！



誰が一番早いかな？





バーベキュー大会

7月28日（日）夕方

近隣の教会や修道会等からたくさんのお客様をお迎えして、今や住吉教会の夏の恒例行事となった「バーベキュー大会」が盛大に催されました。

今年の参加者は過去最高の96人！出会いの広場や園庭はお肉の焼ける美味しそうな匂いと各テーブルの皆様の賑やかな話声で盛り上がりました。

丁度この日はオマリー神父様の82歳のお誕生日！！かわいいケーキも用意され、全員で「♪ハッピーバースデーオマリー♪」



途中、パラパラとしかけましたが名だたる晴れ女達が空を睨むと、瞬くうちに止み、涼しい風をプレゼント。パウロ・三木ホールにあわててセッティングされたテーブルはクーラー付きで落ち着くには最高！一度座ると話に花が咲き、運動場まで紙皿持って取りに行く人が少ないので、大きなトレーに次々と焼けた品を並べてもらい、元気な子ども達が各テーブルに宅配サービス。

今年も熱い炭火の前で終始流れる汗と戦いながら、皆の為にたくさんの美味しい品々を焼いて下さった中高生や男性陣に感謝！！・・・楽しい時はあっというまに過ぎ、皆で記念写真を撮り、暑い中いらして下さったお客様をお見送り。

住吉のモットー「皆で準備して皆で楽しみ皆で片付ける」もすっかり板に付き、小さな子供に至るまで自分の出来る事を探して、楽しみながらお手伝いしている姿をごらんになった神様はきっと拍手して喜んで下さった事でしょう。 来年は皆様も是非ご参加下さい。





汗だくの焼き手さん達



うまく焼けたかな？

ハイ、チーズ！



♪お客様も一緒に歓談♪



三者会談？



《図書の紹介》

『シュヴァイツァー博士とともに― 生命への畏敬のいざない』

ルイーザ・ジレック＝アール著 加茂映子訳 河合文化教育研究所 発行

ドイツの神学者にして内科医となり、アフリカでの長年の働きに対しノーベル平和賞を贈られたシュヴァイツァー(1875-1965)。密林の聖者として知られ、著作は今も読まれています。バツハ研究者、又オルガニストとしても世界的レベルであった事は余り知られていません。音楽の道での、その輝かしい経歴を捨て、アフリカ行きを決意し―から医学の勉強を始めたのは 30 歳でした。当時のオルガンの師、ヴィドールが引留めようとするのを何とか説き伏せた言葉は「神が私を呼んでいますから…」の一言であったと残されています。

この本はルイーザという女性の精神科医が、シュヴァイツァーと共に過ごした病院での思い出を記し、30 年後の 1990 年に出版しました。86 歳の老シュヴァイツァーの人間性、又、彼を取り巻く、世界中から集まってきた優秀な医療従事者や、一緒に働く現地の人々との交流を生き生きと描いた作品です。そしてただの回想録にとどまらず、読後の爽やかな感動を呼ぶのは、アフリカの悠々とした大自然の彩り豊かな描写にもあると思います。中でも印象的なものはグスダヴという現地人の病院用務員と著者との会話です。シュヴァイツァーに傾倒し生涯を捧げた彼が博士から学んだ事として、「時間の観念」「思いやり」「キリスト教」であったとあります。博士は、アフリカ土着の風習や文化を軽んじず、温かく、彼らの未知の恐怖を取り除き、キリストの教えを伝えました。若かりし著者の観点から、大家と呼ばれるシュヴァイツァーの、人間臭さや、内気な中の深い情念、苦悩の横顔などの素顔が垣間見られる一冊です。

『ゆるしへの道―ルワンダ虐殺から射してくる、ひとすじの光』

イマキュレー・イリバギザ著 原田葉子訳 女子パウロ会 発行

同じく、遠くアフリカ大陸の、ルワンダで 1994 年に起きた内戦、虐殺の中を、当時 22 歳であった著者は何とか逃れて生き延び、祈りのうちに深い信仰体験を重ねます。家族も友人も失い、絶望の中でも、憎しみでなく「ゆるし」を選択する著者は、今はアメリカで二児の母となり、穏やかな生活を得ています。その平和な日常の中で、子供たちや世に、壮絶な体験を残さねばと奮起して書いた著作の二冊目です。タイトルから「重い」「暗い」とつい敬遠してしまいがちですが、不思議と引きずるような重さは感じません。それは現実に打ちのめされる中でも、ひたむきに等身大の言葉で神様に語りかける純粋な姿と信仰心に、希望の、まさしく一筋の光を見出すからです。私にとっては「愛の反対は、無関心である」と思い知らされた読書体験でもありました。信仰を絶えず刷新していくことの大切さ、そして想像を超える苦しみを乗り越えた著者が、明るくしなやかに生きている、という事実が力強く温かいメッセージとなっています。

図書コーナーでは是非一度、手にお取りください。

マリア・クララ・シャンタル A.S

☆ ☆ ☆

『 他の新着図書 』

教皇フランシスコ

新教出版社

憩いの水のほとりに

高橋重幸神父

オリエンス宗教研究所

《 後記 》

足腰が丈夫なのが私のとりえなどと豪語しておりましたのに、ここ 2～3 年、年齢（とし）相応に体のあちらこちらに“ひずみ”が出て参りました。内科、整形外科、眼科 etc. 「人並み」にです。でも私達には強い味方がいらっしゃいます。心の寄り所があります。「決して耐えられない様な苦しみはお与えにならない神様」がおられるし、「今も死を迎える時にも祈って」下さるマリア様がおられるのです。被昇天祭にあたり、健康に不安を抱えるすべての方々のためにマリア様のお取り次ぎを切に願い、祈りたいと思います。

M.M

子供の頃から父が良く聴いていたナット・キング・コールの唄の中で“Smile”は今でも私の大好きな曲です。悲しい時、嬉しい時、苦しい時いつも誰かの笑顔で癒されてきました。日常に出会う方々の美しい微笑みは嬉しいものです。毎日の生活で忙しく過ごし、つい自分自身はその笑顔の恩返しをしていない～と気付く今日この頃です。これからは“you'll find that life is still worthwhile, if you just smile ♪”(笑ってさえいれば、人生はまだ有意義だ)を忘れず、どんなに辛い事があっても、そしてこの夏の暑さも、神様のお恵みだと思いながら微笑んで過ごしていきたいものです。

A.M

「教会案内」

<u>ミサ</u>	主日ミサ	日曜日	9:30
	第1・第3土曜日(スペイン語)		19:00
	週日ミサ	月・水・土曜日	7:00
		火・金曜日	9:30
		木曜日(聖体礼拝)	17:30
		木曜日	18:30
<u>評議会</u>	第3日曜日		11:00
<u>野宿者支援炊出し</u>	第1土曜日9:30	住吉教会集合	
<u>信仰講座</u>			
	入門講座(赤波江神父)	第1・第3日曜	11:00
	聖書の集い(赤波江神父)	金曜日	10:30・14:00
	信仰の分かち合い(信徒)	第2・第4日曜	11:00
<u>教会学校</u>	第1・第3土曜日		14:00～16:00
<u>ミサの後のお話</u>	対象:子供	日曜ミサの後少しの時間	

「すみよし」第190号

発行日 : 2013・8・15

発行責任者 : 赤波江 豊神父

編集・印刷・発行 : 広報チーム

発行所: 神戸市東灘区住吉宮町

2-18-23

カトリック住吉教会

TEL : 078-851-2756

FAX : 078-842-3380

<http://www.sumiyoshi.catholic.ne.jp>

「すみよし」電子版は教会HPにフルカラーで掲載されています。どうぞご覧ください。